



2020年3月17日（火）オープン

「紙の博物館」が、常設展をリニューアル

～インバウンド対策に加え、今、注目が集まる「環境」「和紙」「渋沢栄一」の展示を充実～

2020年3月4日

報道関係各位

公益財団法人 紙の博物館

このたび、紙の博物館は、改修工事に伴う休館（2019年9月1日～2020年3月16日）を経て、2020年3月17日（火）にリニューアルオープンいたします。2020年6月8日に、創立70周年を迎えることを機に、さらに多くの方にご満足いただける博物館を目指し、展示内容・設備の充実を図ります。

当館では、創立以来「紙の歴史をたどり、現在を知り、未来を考える」を理念に活動を続けてまいりました。今回のリニューアルでは常設展示を「紙と産業」「紙の教室」「和紙と文化」として再構成し、ご要望が多い「環境」、「和紙」に関する展示を充実させます。また、新紙幣刷新や大河ドラマの決定を受けて注目が集まる「渋沢栄一」の活動をきっかけに、王子が「日本の洋紙発祥の地」として発展していった歴史にも触れ、この地に当館が立地する由来を分かりやすく展示します。身近な紙の魅力を改めて見つめ直していただくきっかけとなるよう、ハンズオンの展示も増やし、さらに、全館の解説内容をインバウンド化することで、外国人のお客様にも快適にご見学いただける展示環境を目指します。

この機会に、ぜひ紹介記事などにてお力添えいただければ幸甚に存じます。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。

*新型コロナウイルスの感染防止・拡散防止のため、今後予定されている弊館事業について、変更・中止の可能性がございます。随時、弊館ホームページおよびSNSをご確認くださいませようお願ひ申し上げます。

問い合わせ先：

公益財団法人 紙の博物館 学芸部 平野祐子（広報）

TEL: 03-3916-2320 / TAX: 03-5907-7511 / Email: gakupei@papermuseum.jp